

「『水素×アート』でミライを見る化！」ワークショップの開催

県では、2050年頃の水素社会の実現を目指し、播磨臨海地域における水素サプライチェーン拠点の構築や、近い将来に社会の中心的役割を担う若者への普及啓発等に取り組んでいます。

この度、県と神戸電子専門学校が連携してワークショップを開催することとし、①県の施策説明を通じて若者世代への水素社会への興味・関心を高めるとともに、②2050年頃のミライをイラスト化し、アートの魅力や訴求力を活用して県民の水素社会への理解を促進します。

■ 開催概要

- (1) テーマ** 「水素×アート」で2050年のミライを見る化！
(水素が日常に溶け込んだワクワクする生活シーンをイメージ化)

- (2) 内容**
- ① 県による取組説明
 - ② グループワーク (グループに分かれてミライの水素社会を深掘り)
※神戸電子専門学校からは、約70名の学生が参加予定
 - ③ グループでの議論を踏まえてミライの水素社会をイラスト・デザイン化 (後日)

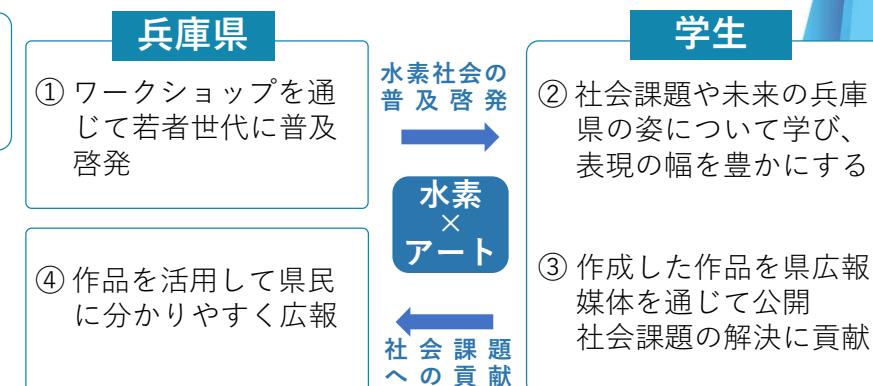


【ワークショップのイメージ】

- (3) 日時等**
- | | |
|--------------|-----------|
| デジタルアニメ学科 | ：2月17日（火） |
| グラフィックデザイン学科 | ：2月24日（火） |

※いずれも神戸市内で開催予定

※一般の方のご入場はできません



コラボレーションでWin-Win！

ワークショップのイメージ

①水素社会に向けた兵庫県の取組（約30分：座学）

- ・2050年はどんなミライ？(IT・AI,まち,交通などを切り口に意見交換)
- ・水素はカーボンニュートラルの切り札（水素の性質や製造・輸送・活用法等を解説）
- ・水素社会に向けた県内外の取組
(県の取組や企業の技術開発など水素活用に向けたイマを説明)
- ・2050年の水素社会はどんなミライ?
(未来の水素社会を解説、グループワークへの導入)

②グループワーク（約60分）～水素が日常に溶け込んだ生活を深堀り～

【デジタルアニメ学科】

- ・グループに分かれ、2050年頃の県内各地域における生活の様子（まちの様子や使われている技術等）を具体に想像し、意見交換
- ・そこで使われているであろう水素技術を意見交換、コーディネーター（県職員）から解説
- ・登場する人物像について意見交換し、キャラクターを設定
- ・意見交換をもとに、その具体像をラフスケッチ

【グラフィックデザイン学科】

- ・グループに分かれ、水素の性質や利活用法の詳細を深堀り（意見交換や技術等の解説）
- ・水素をわかりやすく示す啓発用パネルを題材に、そのデザインをラフスケッチ

③イラスト・デザイン作成（ワークショップ後1か月程度）

- ・ラフスケッチ等を基に、イラスト・デザインを仕上げ

水素ってどんなもの？

水素っていったいどんなものでしょう？
その特徴をいくつかあげてみます。

<特徴1> 燃えると水になる

水素は、単体ではなく自然界にほとんど存在しませんが、他の物質と一緒にいた状態「化合物」として存在します。水素（H₂）と酸素（O₂）が組びついで生まれた水（H₂O）のみでありますため、環境に優しいクリーンなエネルギーとして期待されています。

<特徴2> 多くの物質に含まれる

水素は、単体ではなく自然界にほとんど存在しませんが、他の物質と一緒にいた状態「化合物」として存在します。水素（H₂）と酸素（O₂）が組びついで生まれた水（H₂O）のみでありますため、環境に優しいクリーンなエネルギーとして期待されています。

<特徴3> 液体・固体になりにくい

水は100℃以上で気体（水蒸気）、0℃以下で固体（氷）になります。
水素は、自然条件下では気体として存在しますが、マイナス253℃以下の超低温状態でなければ、液体や固体になりません。

<特徴4> とても軽い

水素は地球上で最も軽い物質です。
気温0度、1気圧での質量は約0.09kg/m³で、同一条件での空気（約1.29kg/m³）の約1/14.4です。

主な気体の1m³ 当たりの重さ
-273 -253 -203 0 100
水素 質量: 1.25kg
密度: 1.43kg
水 質量: 1.00kg
密度: 1.00kg
(条件: 気温0度 - 1気圧)

ミライの街・人（学生）

+

水素の活用法（県）



ワクワクするミライ像